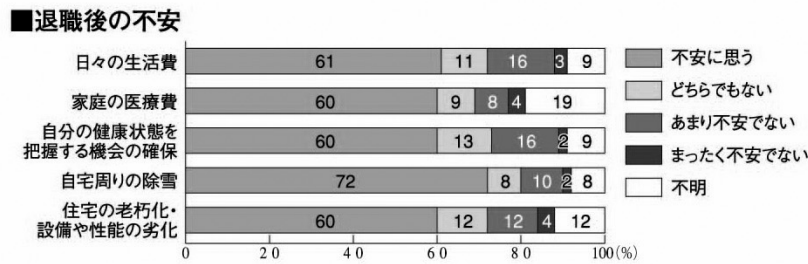


表2-1



■退職後にやりたいこと

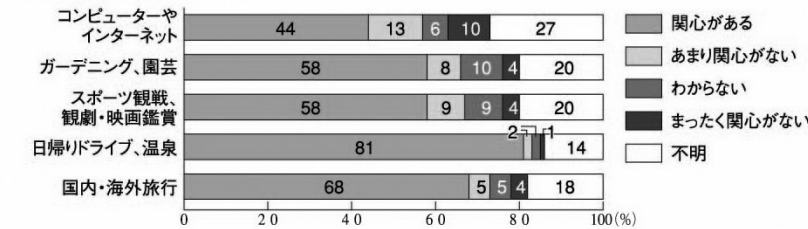
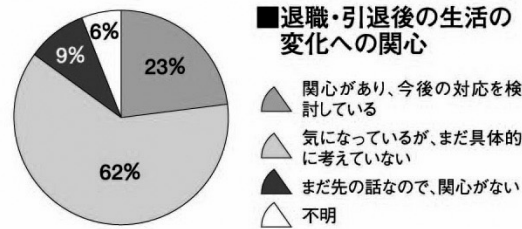


表1 ■団塊世代の人口比

	石狩市	全国
団塊世代人口	3,737人	6,798,000人
総人口比	6.63%	5.32%
50歳代人口	10,645人	18,940,000人
総人口比	18.89%	14.83%

※平成16年10月1日現在(全国値は推計人口)

表2 「退職等に伴う生活実態アンケート」結果



団塊世代のアンケート結果で見る退職後のすがた

石狩市の団塊世代の人口比は、表1にあるように全国平均を大きく上回っています。これを50歳代全体と比較してみると同様に高率となるため、今後の影響を考え、市では今年7月に56歳～64歳までの市民千人を対象に「退職等に伴う生活実態アンケート」を実施しました(表2)。その結果、8割を超える人が退職後の生活に関心を持っていくことが分かりましたが、具体的には、退職後の暮らしをどんなふうに見据え、何を希望しているのでしょうか。

調査によると、退職後の不安で一番多かったのは「自宅周りの除雪」で、次に「生活費」「健康管理」「住宅の手直し」「医療費」と続くことから、身の回りの諸問題に対する不安が強いことが分かります。

一方で、退職後にしたいことについて上位項目に並んだのは「日帰りドライブ・温泉」「国内・海外旅行」で、これまで時間が取れずにできなかった趣味などを楽しむことへの高い期待感がうかがえます。また、「コンピューター」や「ガーデニング」など新分野に挑戦したいという意欲があり、そのために必要な技能習得や仲間づくりなど、生きがいの創造にも前向きであることが読み取れました。



地域活力政策室/中西章司主任

充実したセカンドライフに向け地域活力政策室が応援します

市では、「2007年問題」を踏まえて、平成17年4月から「地域活力政策室」を設置し、団塊世代の定年退職が地域に及ぼす影響を予測しながら、退職者が生き生きと暮らしていくための方策を検討しています。

同政策室の中西章司主任は、団塊世代の今後の活躍に大きな期待を寄せ、次のように話します。

「団塊世代の方々には、会社や家庭の中心的な存在として活躍してきましたが、定年などで会社を離れた後の社会とのつながりや、家庭での身の置き所がないなどの不安もあるようです。しかし、今までかわることのなかった身近な地域活動に積極的に参加することで、充実したセカンドライフを送っている方もたくさんいます。豆腐店を開業した池田さんのように自ら起業

する方はまだ少ないようですが、これまでの経験や技能を生かして新しい一歩を踏み出したいと考えている人も多く、地域にはこうした方々を必要とする場面や活躍できる分野がたくさんあります。団塊世代は、前後の世代に大きな影響を与え、時代をリードしてきた方々ですので、退職後も地域の中で、そのバイタリティーと能力を十分に発揮していただきたいと思っています。」

すでに、石狩市では団塊世代の皆さんに退職後、もしくは定年を控えた方々にも参考となるような講座(各種スポーツ・文化教室、シニアプラザ、ボランティア養成講座など)を開設していますが、地域活力政策室では、このほか、NPOなどの団体や、市内に限らず近郊で行われているものなど、セカンドライフの生活設計に役立つ情報を石狩市ホームページなどで提供していきます。

また、8月29日の「退職後の生活を考えるワークショップ」を皮切りに、12月にはシンポジウムも開催予定で、より具体的な退職後のセカンドライフについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

なお、今後のセカンドライフを快適にするためのアイデアなどがありましたら、地域活力政策室までお気軽にお寄せください。



「ボランティアの会には、自営業、主婦、公務員などさまざまな職業の方々が集まるので、活気があって参加するのが毎回楽しみ」と木戸口さん。

前向きな視点で地域活動に参加

花川在住の木戸口道彰さん(67)もまた、充実したセカンドライフを送る一人です。定年を迎えるまでは高校教諭として、全国各地を転勤して歩く多忙な生活を送っていました。そのため、現役のころは地域とのかかわりはほとんどなかったと木戸口さんは言います。退職後もすぐに再就職したため、現役を退いたのは65歳。その

ときの実感には、「やっと解放されたという気持ちかな。自由な時間が持てると思うと、正直うれしかったですね」。言葉どおり、木戸口さんはその後、野菜づくり講座や英会話教室、石狩川クルージングツアーなど、興味を抱いたさまざまな催しに夫婦二人で参加。中でも、現在は、市民主体の生涯学習講座「企画ボランティアの会」での活動に積極的に取り組んでおり、さらにこの8月からは、ご自身の専門である地理や歴史の知識を生かすことができればと、市で運営する「石狩ファイル」の制作にも参加しています。

そんな好奇心と熱意を原動力に活動する木戸口さんに、団塊世代へ向けたメッセージを伺いました。



木戸口道彰さんは「今後は、自分の得意分野を生かしながら、地域の中でいろいろなことにかかわっていければ」と抱負を語ります。



すね。難しいことを考えず、興味のあること、身近なものに触れてみてはどうでしょうか。それで夫婦共通の趣味がひとつでもあるとなおいいですね。その上で、地域のために、豊富な知識や経験が生かされればよいのではないのでしょうか」

ご存じですか? 北海道高齢期雇用就業支援センター

(社)北海道雇用促進協会が運営する「北海道高齢期雇用就業支援センター」は、中高年齢者に向け、無料で定年退職後などの職業生活設計をお手伝いしています。ぜひご利用ください。

内容 就業相談、各種セミナーの開催(定年退職前後の諸手続、税金・年金制度のしくみ、高齢期の健康管理、定年後の再就職など)、各種情報の提供(雇用保険制度、年金制度など)

対象 ・おむね45歳以上の在職者で、定年退職後等の職業生活設計をお考えの方

・おむね45歳以上の離職者で、職業生活設計等でセンターの利用を希望される方

利用時間 平日/9:00~17:00 ※土日祝日・年末年始は休み

問合せ 〒060-0004 札幌市中央区北4西5三井生命札幌共同ビル9階
北海道高齢期雇用就業支援センター
☎(011)204-9381 ☎(011)204-9382

ホームページ <http://www.kourei-hokkaido.or.jp/kourei/>

Eメール h-kourei3@nifty.com